

京都大学 国際科学イノベーション棟

- 農業、食品ビジネス(機能性食品)
- ヘルスケア | 医療関連
- 新規素材
- 環境・グリーンテック・エネルギー
- 京都大学の知・文化・研究成果(シーズ)を題材に、最先端技術に基づく リアルな事業化検討のトレーニングと実践を行います。
- 各グループの提案は、ベンチャーキャピタリストに 提案/実際に投資判断をしていただきます。
- ■対象者
- 企業内で新規事業の事業推進担当
- およびその候補(イントラプレナー) 起業を検討している者(アントレプレナー) 書類選考・面接による選抜を行います。

2024年度秋期スケジュール

全7回	日時	会場 [※]	プログラム*
第1回	10月20日(日) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Introduction ■ Team Up ■ 未来洞察 ■ テーマ検討
第2回	11月2日(土)13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ 機会発見 ■ シナリオ・ライティング
第3回	11月16日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ アイディエーション(課題 × シーズ)
(土日2日間)	11月17日(日) 9:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ シーズ探索 ■ Team Building
第4回	11月30日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Prototyping講義 ■ Rapid Prototyping実習
第5回	12月15日(日) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ ビジネスモデル構築 ■ Lean Canvas講義 ■ チーム作業 メンタリング
第6回	1月11日 (土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ プレゼンテーション ■ メンタリング
第7回	1月25日(土)13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Demo Day

※宿泊費等は自己負担です。 ※プログラム内容は状況により変更となる可能性があります。

募集人数 25名(最少催行人数 16名)

作文(申込フォーム参照)

※面接、履歴書をお願いする場合があります

参加費用

25万円(教材費含む・消費税別)、 京都大学教職員、学生(京大以外も含む)無料

10月11日(金) 17時00分迄に

合格者に通知します

申込フォーム https://forms.gle/HBBmEeN8XVqgbftB7

2024年 10月7日(月) 17時00分

本研修において製作されたプレゼン資料その他の成果物の著作権その他一切の知的財産権は、主催者の意向に従います。 また参加企業及び受講生は成果物に関する著作者人格権を行使しないものとします。



京都大学 成長戦略本部 統括事業部 エコシステム構築領域 イノベーション マネジメント サイエンス(IMS)部

ims@saci.kyoto-u.ac.jp (お問い合わせ先)



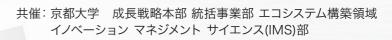
国内市場の成熟化、ビジネスの急速なグローバル化を背景 に、「これまでにない何か」を形にして事業を創り出すことが求 められています。起業家にとって、社会の課題を発見し、新しい 技術やアイデアなどを用いて解決する方法を見出だせば、大きな 事業機会の獲得につながります。また多くの企業にとって、自社 だけでなく大学など外部の技術やアイデアを組み合わせて素早 くビジネスとして市場に展開する能力は重要なテーマです。本 コースは、京都大学の知・研究成果の事業化をテーマに、社会 の課題を実際の京都大学の知・研究成果を用いて解決する事 業創出のプロセスを進め、最終的に事業プランを作成・提案 していただきます。私達は、新しいものは、異質な価値観を持 つ人との議論する中から生まれると考えます。今後、ビジネス リーダーとして新規事業の立ちあげに関わる方だけでなく、 すべての事業推進に関わる方にとって役に立つ経験になると思い ますので、ぜひ、ご参加ください。

本コースは、京都大学と京都大学100%出資のVC子会社 である京都大学イノベーションキャピタル株式会社による京 都大学の知・研究成果の事業化を推進・支援するプログラム の一部を構成しています。

技術イノベーション 事業化コース

実践ワークショップ

若手事業推進者のための



京都大学イノベーションキャピタル株式会社 後援: 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(KSAC)

本コースの特色



豊富な起業実績

これまで30社を超える実際の起業実績があり、様々な領域で新たな価値を創造しています。

外部ベンチャーキャピタルからの本格的な資金調達に成功した企業、大企業に会社を売却してEXITに成功した企業を数多く輩出してきています。 また、経済産業省J-Startupへの選定、総務省・NICT主催「NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days 起業家万博」における総務大臣賞(最優秀 賞)受賞、国連ITU特別賞受賞など、数多くの受賞実績を誇っています。

こうした起業の実績は、マスメディアにも取り上げられています(日本経済新聞、日経トレンディなど)。



異業種ネットワーク

終了後もこのプログラムで培われた人的ネットワークは貴重 なつながりとして生きていきます。

これまでハイテク、通信、金融、製造業、製薬等、数十社の民 間企業からの参加があり、貴重な異業種交流の機会として活 用いただいています。



京都大学による継続サポート

受講生の起業には、京大のインキュベーション施設の利用やギャッ プファンド等各種助成金へのアクセスをサポートします。 また、要件を満たせば、京大ベンチャーファンド等の投資対象にな

アプローチ



実績ある仮説創出・検証プロセス

着眼がユニークで、現状の制約条件にとらわれない大胆なアイデアを創出するための実績あるプロセスを適用します。

トレンド解析

ビジネス仮説

仮説検証

> Prototyping



事業化

> DemoDay

- > 未来年表
- > Ideation
- > TurningPoint分析 > EnablingTechnology 探索
- > LeanCanvas

- ・事業機会を大きく捉える
- ・将来の社会を展望する
- ・ビジネスの構想(発散)
- ビジネスを可能にする 技術シーズの探索
- ・ユーザー視点での検証 ・ビデオ作製等プロトタイ
 - プおよびリーンキャンバ ス活用
 - ・専門の研究者による知見
- リアルかつシビアなビジネス化 の追求
- ・実際の事業化に向けたフォロー
- の活用

各種実践手法の体得

専門家のファシリテーションにより、未来年表、リーン・キャンバス、ビデオプロトタイピング等、すぐに・繰り返し活用で きるビジネス仮説創出手法・顧客ニーズ検証手法を体得します。



大胆さと実現性可能性の両立

2 機会発見 3 アイディエーション 4 テクノロジー探索・マッチング 5 ビデオプロトタイピング 6 リーンキャンバス 7 デモディでのエコシステムへの

1 未来年表

木谷 哲夫 講師 きたに てつお

京都大学成長戦略本部 特定教授

東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了(MA)、ペンシルバニア大学ウォー トンスクールMBA。日本興業銀行、メリル・リンチ(NY)、マッキンゼー、アリックス・パートナー ズを経て現職。マッキンゼーでは、アソシエートプリンシパルを務め、金融機関・自動 車・機械・ハイテク産業での新規事業戦略の立案・オペレーション改善に従事した。研究 領域は企業戦略、ベンチャーファイナンス、リーダーシップ論。九州大学大学院客員教授、 龍谷大学経済学部客員教授。大阪市特別参与、大阪府特別参与など歴任。著書に「成功 はすべてコンセプトから始まる」(ダイヤモンド社)、「独裁力」(ディスカバー21)など。

田村 大 講師 たむら ひろし

株式会社リ・パブリック共同代表、株式会社UNAラボラトリーズ共同代表

東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。日本初のデザイン思考に基づくイノ ベーション人材育成プログラム・東京大学i.schoolの創設者として知られ、現在は、地域や組織 が自律的にイノベーションを起こすための環境及びプロセス設計の研究・実践に軸足を置く。 著書に「東大式 世界を変えるイノベーションのつくりかた」(早川書房)など。九州大学、北陸先 端科学技術大学院大学で客員教授を兼任する。

神尾 涼太 講師 かみお りょうた

株式会社リ・パブリック ディレクター

明治大学文学部地理学科卒業、バルセロナ大学大学院Spatial Planning & Environmental Management修士課程修了・カタルーニャ先進建築大学院大学 (IAAC)Design for Emergent Futures修士課程修了。バルセロナを拠点に、 都市地理学の視点からハウジング・都市問題の研究を始める。同時に新興テクノロ ジーを用いた、未来の居住環境のプロトタイピング、デザインを専門にする。

新村 和大 講師 しんむら かずひろ

京都大学成長戦略本部 特任准教授

名古屋大学 ディープテック・シリアルイノベーションセンター 特任准教授

京都大学経済学部経営学科卒業、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。創 業期ベンチャーにおける経営理念や全社戦略の策定、資金調達、組織構築を強みとす る。これまでに取締役として経営するベンチャーを3度Exitした経験を持つ(NTTグルー プ、KDDIグループなどへ売却)。また、文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト トビタテ!留学JAPAN」では、立ち上げ期にプロジェクトオフィサーを務めた。現在では 上場企業の社外取締役など数社で取締役を務めながら、複数の大学でアントレプレナー シップ教育に携わっている。

古我 知史 講師 こが さとし

ベンチャーキャピタリスト、京都大学成長戦略本部フェロー

ウィルキャピタルマネジメント株式会社代表取締役、アリストテレスパートナーズ株式会 社代表取締役、県立広島大学大学院客員教授、龍谷大学客員教授。早大政経卒。シティ ベンク、マッキンゼーなどを経て、独立系ベンチャーキャピタリストとして累計70社を超 えるベンチャー投資と事業育成現場に参画。アニコムホールディングス、卑弥呼、イオン ペット、セルム、TOOなどの取締役を歴任・現任。九州大学大学院客員教授、衛星放送協 会外部理事、FBNジャパン理事長、大阪府市統合本部特別参与、日本生物科学研究所評 議員など歴任。著書に『リーダーシップ螺旋』(晃洋書房)、『着眼の技法』、『もう終わって いる会社』(ディスカバー21)、『戦略の断層』(英治出版)、『アリストテレスの言葉』(東洋

清水 淳史 講師 しみず あつし

株式会社リ・パブリック ディレクター

高専の建築学科を卒業後、九州大学芸術工学部へ編入し、同大学院統合新領域学府修 了。在学中はデザインと編集を学び、展示やワークショップの企画・運営、未来洞察手法 を応用した企業との共同研究などに携わる。現在は神戸市を拠点に共生と自治、文化 政策などを中心にリサーチ活動をおこなっている。

遠藤 礼子 メンター えんどう のりこ

株式会社島津製作所 グローバル共創営業戦略室 産学官連携推進ユ ニット グローバル連携推進グループ マネージャー 博士(環境工学)

環境工学と公衆衛生の分野融合的なフィールドでグローバル、イノベーティブに活躍。 前職Biobot Analytics(米国ケンブリッジ)では2017年よりスタートアップの一人目 の社員として入社し、下水疫学に携わるデータ解析、フィールド調査、ビジネスディベ ロップメント等様々な業務に関わる。米国CDCとの契約獲得、TIME100 Most Influential Companies 2022選出、従業員100人に成長するなど見届ける。マサ チューセッツ工科大学工学博士。2024年4月より現職。

水沼 未雅 メンター みずぬま みか

Craif株式会社 最高執行責任者、わたし漢方株式会社 取締役

京都大学薬学部卒業、東京大学大学院薬学系研究科にて博士号(薬学)取得、薬剤師。 大学院在学時に、ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞、東京大学総長賞受賞。ア ストラゼネカ、マッキンゼーを経て2017年にわたし漢方株式会社を創業。2019年より lcaria株式会社(現Craif株式会社)の最高執行責任者として、次世代リキッドバイオプ シーの研究開発、事業開発、組織構築、資金調達などを推進。

山下 麻亜子 メンター やました まあこ

株式会社ビビッドガーデン 取締役執行役員COO

京都大学法学部を卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。マネージャーとして 主に消費財・小売業 の全社戦略、新規事業立ち上げやオペレーション改善の案件を主 導。社内の人材育成採用にも従事。2020年6月に株式会社ビビッドガーデンに入社。 2021年2月より同社取締役として、事業戦略の策定や採用、組織設計など全社横断的に 管掌。2022年5月より取締役執行役員COOに就任。

※講師・メンターは状況により一部変更の可能性があります。

これまでの参加企業・大学 Open Technology Innovation Course

株式会社 産業革新機構

NKmedico

株式会社 サイバーエージェント

KPMG コンサルティング株式会社

野村證券株式会社

株式会社 ブライセン

株式会社 NTT ドコモ

住友電気工業株式会社

ウシオ電機株式会社

大阪大学大学院

早稲田大学

任天堂株式会社

旭化成ファーマ株式会社

パナソニック株式会社

関西電力株式会社

る古屋商科大学大学院

同志社大学

ソーバル株式会社

大和ハウスパーキング株式会社

三菱リサーチ&コンサルティング株式会社 太陽グリーンエナジー株式会社

日立建機株式会社

有限責任 あずさ監査法人

野村ホールディングス株式会社

株式会社 東芝

京都リサーチパーク株式会社

京都大学研究者(医学・理学・農学研究科等) サヴァナコンサルティング株式会社

三菱重工業株式会社

立命館大学

株式会社JR西日本イノベーションズ

株式会社 日立製作所

株式会社 日立システムズ

東京大学大学院

慶應義塾大学 京都大学大学院

有限責任監査法人トーマツ

京都産業大学

中央大学

東日本電信電話株式会社

太陽ホールディングス株式会社

千葉大学

株式会社日新

株式会社オプテージ

京都先端科学大学 (順不同)